

特別養護老人ホームの建設始まる



社会福祉法人南富良野大乗会が、町および道の補助を受けて金山地区の旧金山菅林署跡地に建設する「特別養護老人ホーム」について、7月31日に入札が執行され、新築工事は富良野市の株式会社北菱と7億2,035万円で契約が締結され、監理業務は札幌市の株式会社サン設計事務所と1,150万円で契約が締結されました。

工事は現地において8月20日に着手され、今後は、来年の3月15日を工期として工事が進められます。

第33回福祉スポーツ大会

高齢者や福祉施設利用者が一堂に会し熱戦を展開

町および町社会福祉協議会の主催による「第33回福祉スポーツ大会」が9月7日、町民体育館を会場として行われ、各地区老人クラブの会員や福祉施設の利用者など256名が一堂に会し、福祉施設の利用者と地区別に赤（幾寅）、青（落合・下金山）、白（北落合）



「ゲートボールリレー」

（金山）の3チームに分かれて10種目の競技を楽しみ、交流を深めました。

競技では、参加した皆さんが、ゲートボールリレーや輪投げリレーなどでは真剣な表情で的やゲートを狙うなど、応援席からの声援を受けて、チームの勝利を目指して熱戦が展開されました。競技の結果、青チームが4年連続となる優勝を果たしました。



「輪投げリレー」

また、種目では、幾寅保育所園児による幼児競争も

行われ、小さな子ども達も元気に駆ける姿に、お年寄りの皆さんは、目を細めながら拍手を送っていました。

競技の合間には、特別プログラムとして、幾寅小学校の児童（4年生から6年生合わせて65名）が「よっちょれ」を披露しました。児童の皆さんが元気な舞を披露すると、会場内の皆さんから大きな拍手が沸き起こり、大会を盛り上げていました。



「よっちょれ」